

2022年度 つむぎ 北千住ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.7	引き続き、カフェやトイレなど清潔に保つように清掃や整理整頓を徹底してまいります。また安全に支援を行うことができる環境づくりに努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.7	今年度体制も変化し、新しいスタッフも増えております。ルーム内研修や、法人内研修などを利用し、支援の質を向上するように努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	引き続き、全スタッフが適切に休憩、休暇を取得することができるように、スタッフ間での連携を密にとり、体制を整えてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		支援室内のトイレについてご意見をいただいております。スタッフ間で対応を検討し、お子さまが安全に利用できるように努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.6	支援の振り返りや会議での情報共有を密に行い、業務改善を図ってまいります。また併設している北千住どろんこ保育園のスタッフとの連携も密にとり、お子さまに最適な支援が提供できるように努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.0	アンケートに貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございます。スタッフ間で共有させていただきました、業務改善につなげてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.4	毎年カフェスペースに掲示させていただいています。ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧いただけますと幸いです。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.1	一昨年度行政監査を受け、業務改善につなげております。今年度は内部監査を受けており、是正計画を立て、改善に取り組んでおります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.1	法人内ではスキル講座や社内講師講座など実施しております。スタッフが積極的に参加しやすいように情報共有や勤務調整など行ってまいります。またルーム内研修を検討し、支援の質を向上するように努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		事務時間の取りずらさをご意見いただいております。スタッフ間での業務分担を行い、スタッフ同士がサポートしあえる体制を構築し、円滑な業務ができるように努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.7	法人共通のアセスメントツールを使用し、記入者以外のスタッフが見ても分かりやすいツールになっています。ツールを使用する際に、改善案などが出た場合には、帳票改定の提案を行い、使いやすくなるように努めてまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.0	保護者様との日々のご相談や面談、お子さまの様子をもとに、ルーム全体で策定会議を行い支援計画を作成しております。引き続きお子さまにあった適切な支援が提供できるように努めてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.0	グループ支援の前にスタッフ間で打合せを密に行い、適切な支援ができるように心がけております。今後もお子さまの様子に合わせて柔軟に支援を行ってまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.7	戸外での活動や、生き物や植物、自然物を活かした活動など、四季を感じることもできる支援など引き続き検討してまいります。またお子さまの主体性を大切に活動を検討してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.4	朝礼やグループ支援前に打合せを確実にし、役割分担や環境設定など確認し、適切な支援を提供できるように努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.1	日々の振り返りや終礼で情報共有を行い、次の支援につながるよう連携を密にとりてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.3	支援後に記録する時間を設けております。スタッフ間で情報を共有しながら、正確な記録を残すように今後も努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.6	6か月に一度は必ず見直しを行い、お子さまにあった支援計画に更新いたします。また状況に応じて、適時見直しができるようにスタッフ間で情報共有を密に行ってまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.9	児童発達支援ガイドラインに従い、自立支援や創作活動の提案、充実した時間が過ごせるように活動を提案し適切な支援を行うように努めてまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		マンスリー活動においては、保育園のスタッフと協力し、適切な支援が提供できるように連携を密にとりてまいります。
	保護者との関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.9
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.9	保護者様のご希望に合わせて適時、所属園との密な連携を図らせていただきます。また併設している北千住どろんこ保育園との連携も密に行い、お子さまが過ごしやすい環境や関わり方を検討してまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	3.9	保護者様のご希望に合わせて、併用している他事業所との連携を密に図らせていただきます。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.9	保護者様のご希望に合わせて、就学支援シートの活用や情報共有を行い、お子さまがスムーズにサービスを利用できるように努めてまいります。

保護者との関係連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.0	新型コロナウイルスの影響によって、連携の機会が少なくなっていました。今後は近隣のうめだあけぼの学園や足立区障害者支援センターと連携し、支援の質を向上するように努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.1	新型コロナウイルスの影響によって、自立支援協議会の開催が小規模になっていました。今後は積極的に参加し、地域で包括的に支援が行えるように努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.7	併設している北千住どろんこ保育園の園児と日々一緒に活動しております。グループ支援、個別支援においても、一緒に活動する機会を今後増やしてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.9	今年度3年ぶりにどろんこ祭りを開催いたしました。今後も地域の皆様に開かれた運営を行ってまいります。カフェに関しても、園庭開放やちきんえつく利用の方にも自由に使用していただけるようにご案内してまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	引き続き、日々の保護者様との情報共有や、事業所内相談支援を活用し、保護者様に対しても適切な支援が提供できるように努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		コロナの影響もあり、所属園や地域との連携が少なくなっていました。今後は感染対策を行いながら、連携を密にとりてまいります。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.9	スタッフ一人一人が見学の案内から契約まで丁寧な説明ができるように、引き続き周知徹底を行ってまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.1	保護者様からの相談など、ルーム全体で一緒に考えていけるように、日々の振り返りの時間の確保や、情報共有の場を継続して行っています。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.6	保護者様が自由に使えるカフェづくりを行い、保護者様同士がリラックスして情報交換ができるように努めてまいります。またグループ支援の際には、スタッフが間を取り持ち、保護者様同士の連携につながるように心掛けてまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.1	気になることやご意見などありましたら、いつでもお伝えください。迅速に対応させていただきます。お子さまや保護者様が安心してご利用いただけるように努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.3	毎月ブログの更新を行っています。今後はイベントの企画、告知などお子さまや保護者様にとって有益な情報も発信してまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎないかなど)	4.0	お子さまや保護者様に合わせて、必要に応じた意思疎通がとりやすい方法を引き続き検討しながら利用してまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.7	個人情報の施錠保管や、個人情報書類の溶解ボックス活用等、個人情報の取り扱いには細心の注意を払って行っています。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.1	日々の振り返り、事業所内での会議などをより多く行い、お子さまの支援の質を高められるように行っています。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		引き続き、スタッフ間での連携を密に行い、適切な対応を心がけてまいります。
	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.9	今年度マニュアルの変更や追記など、その都度皆様に周知致します。またマニュアルに沿った対応を徹底してまいります。
非常時の対応について	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3.7	個別支援やグループ支援での避難訓練に対してご意見をいただいております。11月以降支援内での参加ができるか全体で検討し、有事の際安全に避難できるようにしてまいります。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.7	今年度、東京都虐待防止研修を受講しています。内部研修を行い、また日々の支援の中でのお子さまとの関わりを振り返り、虐待防止に努めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.3	日々の終礼でのヒヤリハットの共有を継続して行い、お子さまに危険が及ばない様に徹底してまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		荒川の近くにあるため、水害の恐れもある地域となっております。火災や地震だけでなく、水害も警戒し、非常時に安全に対応できるように努めてまいります。
	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.1	つむぎを楽しみにしているとお言葉を多くいただきました。引き続き、お子さまが楽しんで支援に参加できるように、スタッフ一同尽力してまいります。
満足度について	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.3	日々の変化やお子さまの活躍した様子など、保護者様と情報共有を密にとり、お子さまの良い面をより引き出せるように努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		スタッフ間の連携や情報交換など時間を調整し、より良い支援を提供できるように努めてまいります。

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日
全回答数 : 7

つむぎ 北千住ルーム
施設長 奥秋 優太